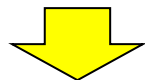


①少子化対策の充実・強化

施策の狙い・ポイント

- これまで、まち・ひと・しごと創生総合戦略や日本一の健康長寿県構想に基づき、出会い・結婚、妊娠・出産、子育てといったライフステージに応じた総合的な対策に取り組んだ結果、**本県の合計特殊出生率は平成21年の1.29を底に回復基調にあり、平成30年までの伸び率は全国平均を上回っている。**
- この回復基調をより力強いものとするためには、支援を望む方の出会い・結婚、妊娠・出産、子育ての希望をより早く叶え、理想とする子どもの人数が実現されるよう、**出会いの機会の創出や安心して妊娠・出産、子育てできる環境整備を進める必要がある。**



ライフステージに応じた対策をさらに充実・強化するとともに、**官民協働の県民運動として展開**する。

成果目標

・ 合計特殊出生率 H30：1.48 → R6：1.70

- 出会い・結婚の希望を叶えるため、こうち出会いサポートセンターのマッチングシステムの機能強化など、取組を強化する。
- 子育ての不安や負担感を解消するため、働きながら子育てしやすい環境づくりが必要。そのため、企業への取組への支援を強化する。

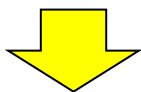
主な新規・拡充施策

- 拡** 出会いの機会の創出のため、マッチングシステムの利便性と認知度を向上させるとともに、婚活サポーターやサブサポーターを増員し、出会いへのサポートや情報発信を強化
【出会い支援事業費（49百万円）】
- 拡** 働きながら子育てしやすい環境づくりのため、ワークライフバランス推進企業認証制度の普及拡大やワークライフバランスの実現に向けたコンサルティングの実施など、企業の働き方改革実践に向けた支援を強化
【働き方改革推進事業費（43百万円）【再掲】】
- 拡** 「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」交流会の開催などを通じて、企業における育児休業の取得に向けた取組や時間単位の年次有給休暇制度の導入を促進
【少子化対策県民運動推進事業費（16百万円）】

② 女性の活躍の場の拡大

施策の狙い・ポイント

- 働きながら子育てができるよう、社会全体で子育てや就労を支援する仕組みを整えてきたことにより、**ファミリー・サポート・センターの県内での拡大や高知家の女性しごと応援室の相談件数、就職者数の増加など、取組の効果が一定表れてきている。**
- 子育てしながら働きやすい環境を整えていくためには、引き続き、ファミリー・サポート・センターの会員の増加による活動の充実を図るとともに、女性しごと応援室による就労支援に加え、働きやすい職場づくりに向けた企業支援や定着支援を進めていく必要がある。



地域における子育て支援の充実を図るとともに、多様なニーズに応じた就労支援等を拡充する。

成果目標

- ・ ファミリー・サポート・センターの提供会員数 H30 : 684人 → R6 : 1,000人

- 子育てしながら働く女性を支援する仕組みを整えるため、ファミリー・サポート・センター事業の会員確保のための取組を強化する
また、高知家の女性しごと応援室による求職者のニーズに合った企業の開拓や働きやすい職場づくりへの支援を拡充する。

主な新規・拡充施策

- 拡** ファミリー・サポート・センターの援助活動を活性化するため、**保育所等と連携した会員の掘り起こしや、預かり手（提供会員）となるための機会増加**などにより、会員の確保に向けた取組を強化

【ファミリー・サポート・センター運営費補助金（26百万円）】

- 拡** 女性の就労を促進するため、高知家の女性しごと応援室によるきめ細かな就労支援を行うとともに、**求職者に安心して紹介できる企業の開拓や働きやすい職場づくりに向けた企業支援を拡充**

【女性就労支援事業委託料（47百万円）】